

審査基準日(仮) : 令和2年12月31日

技能者名簿

通番	氏名	生年月日	評価日	レベル向上の有無	控除対象
1	●● ●●	S●●年●●月●●日	R2年5月31日	○	
2	○○ ○○	S○○年○○月○○日			
3	■■ ■■	S■■年■■月■■日	R2年10月15日	○	
4	○○ ○○	S○○年○○月○○日			
5	△△ △△	S△△年△△月△△日	R2年12月20日	○	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     生年月日が審査基準日に近い順(若い順)に記入。                 </div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     本様式には、審査基準日以前3年間に建設工事に従事した者であって、常勤である者すべてを記入してください。                      ※資格の有無に関わらず、建設工事に従事した者は記入が必要です。                      ただし、建設工事の施工管理のみに従事した者は除いてください。                 </div>					
合計	5 (人)			3 (人)	1 (人)

記載要領

- この表は、審査基準日における許可を受けた建設業に従事する職員のうち、審査基準日以前三年間に、建設工事の施工に従事した者であって、建設業法施行規則第十四条の二第二号チ又は同条第四号チに規定する建設工事に従事する者に該当する者(ただし、建設工事の施工の管理のみに従事した者は除く。)について作成すること。
- 「評価日」の欄には、技能者が審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記載すること。
- 「レベル向上の有無」の欄には、審査基準日以前三年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の三年前の日以前に受けた最新の評価の区分より1以上上位であった者に該当する場合に、○印を記載すること。
- 「控除対象」の欄には、審査基準日の3年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分に該当するとされた者の場合に、○印を記載すること。
- 本表の最後の行には、作成対象となる技能者、「レベル向上の有無」の欄に○印が記載された者、「控除対象」の欄に○印が記載された者、それぞれの合計人数を記載すること。